



歯みがき教室

～正しい歯みがきの仕方を身につけるために～

14日、1年生と6年生に歯みがき教室を行いました。1年生は「6歳臼歯の特徴とみがき方を知ろう」、6年生は「歯の病気（歯肉炎）の予防をしよう」というテーマで歯科衛生士さん、保健師さんからご講話いただきました。今年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、例年行っていた自分の歯を実際に磨くことはせず、自分の爪を歯に見立ててみがきかたを教えてくださいました。また、甘い飲み物の取り方や、むし歯・感染症予防のためのうがいの仕方についても教えてくださいました。寝ている間は、むし歯にもなりやすいことから、夜は特に丁寧に歯をみが磨いてほしいと指導を受けました。

歯みがきはなんと言っても家庭が基本。この機会に、家での歯磨きについて見直してみてください。



あいさつをより気持ちよく ～「語先後礼」の実践～

「語先後礼」という言葉を知っていますか。これはビジネスの世界での丁寧なあいさつの仕方をあらわしたもので、「言葉を先に、礼を後に」という意味の言葉です。挨拶をする際に相手に対して向き合って挨拶の言葉を発してからお辞儀をするという動作です。挨拶の際に、礼をしながら言葉を発してしまうと相手を見ずに地面を向いた状態で挨拶をしてしまうことになり、丁寧さに欠けると思われることもあるということです。

「語先後礼」は「分離礼(言葉と礼を分ける)」とも言われ、接客のお仕事などではこの基本型を徹底している会社もあります。もちろん、あいさつですので、相手、時、場等による使い分けは必要であることは言うまでもありません。大事なのは、「形」ではなく「気持ち」であることも承知していますが、気持ちを表す形を知っているか、いないかは大きな違いになってくると思っています。

以前に、6年生には「語先後礼」の話をしました。なかなか実践までは難しいだろうと考えていましたが、6年生とあいさつを交わすときに、立ち止まって「語先後礼」をしてくれる子がいたり、6年生全体での集まりなどのあいさつでは、みんな「語先後礼」を実践している姿が見受けられます。いいなと思えることを実践に移し、やり続ける姿勢はさすが北小のリーダー6年生です。いつしか、「語先後礼」も北小のよき伝統になっていくといいなと思っています。



保護者の皆様からの声をお待ちしています。

～学校に対するご意見・ご感想等お気軽にお寄せください(または assist.nihonmatsukita-e@fcs.ed.jp まで)～

..... 切り取り線